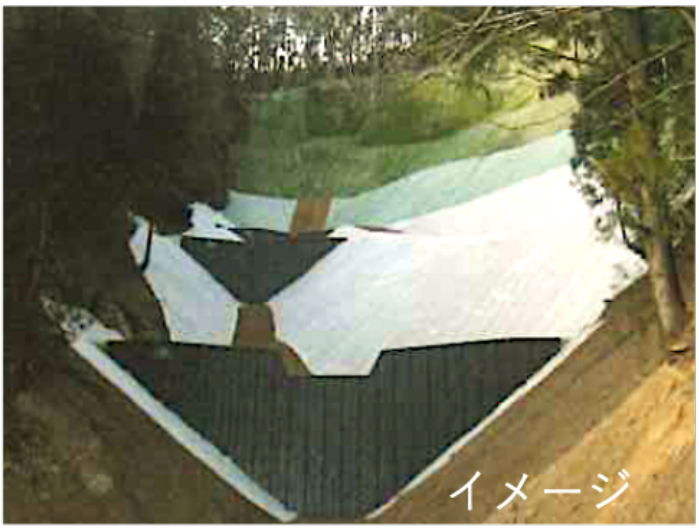
Q.どちらの砂防ソイルセメント堰堤が コストパフォーマンスが高いでしょうか？

断面を考えてみましょう！

規模の小さい 砂防ソイルセメント 堰堤A

堰堤幅がL=20m
堰堤高H=14.5mの
V字谷に設置する堰堤

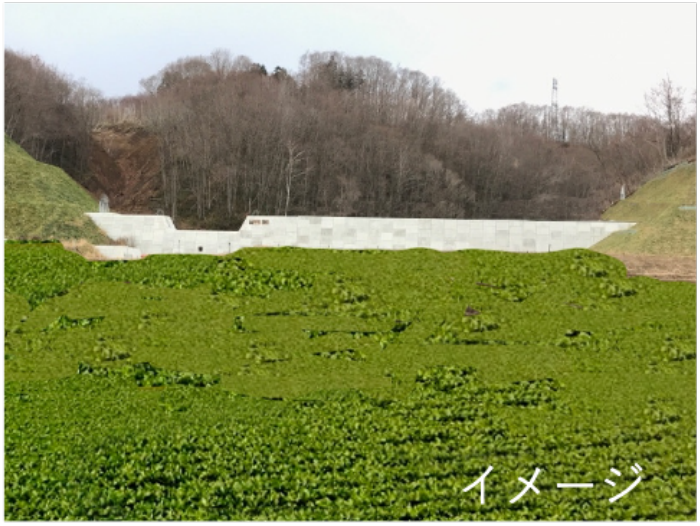


※モデルケースの堰堤と上記写真のサイズはリンクしていません。

（堤体体積）
V=1,460㎥

規模の大きい 砂防ソイルセメント 堰堤B

堰堤幅がL=200m
堰堤高H=7.0mの堰堤



※モデルケースの堰堤と上記写真のサイズはリンクしていません。

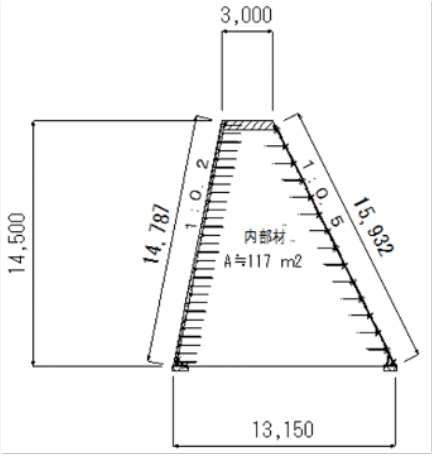
（堤体体積）
V=7,350㎥

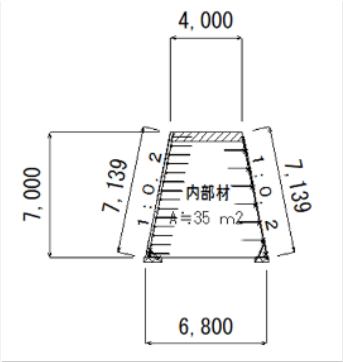
A.　規模の小さい砂防ソイルセメント堰堤Aの方がコストパフォーマンスが高い！

一見すると規模が小さなモデルケースAは、コスト縮減効果が少なく、コンクリート工法よりも割高と感じる方が多いですが、実際は全く違った結果に！

STEP1　まずは断面で比較

規模の小さい 砂防ソイルセメント堰堤 A	規模の大きい 砂防ソイルセメント堰堤 B
20m幅で約1,460㎥	200m幅で約7,350㎥





STEP2　価格指数で比較

コンクリートを１００として指数で比較してみます。

	内部材 コスト比較	保護材 コスト比較	総合コスト比較 規模の小さい 砂防ソイルセメント堰堤A		規模の大きい 砂防ソイルセメント堰堤B
			1,460㎥	注目！	7,350㎥
砂防ソイルセメント利用	42%	313%	77%		92%
コンクリート利用	100%	100%	100%		100%

※ＳＢウォール工法の保護材は型枠としての機能だけでなく、堰堤としての耐衝撃性・耐摩耗性を向上させる目的で設計されています。そのため、当工法は砂防ソイルセメントの特長を最大限に活かしながら保護材で機能を補完するハイブリッド構造となっています。

SBウォール工法研究会

日鉄建材株式会社　共和コンクリート工業株式会社　株式会社インバックス

〔事務局〕〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉23-1

(株)インバックス内　TEL 048-749-3507　FAX 048-749-3508

URL https://www.sbwall.org

sb 2022-11